

## 経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和3年12月9日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	12時23分	1 : 59
場 所	委員会室			
出 席 者	前田委員長・澁谷副委員長・長谷委員・川股委員・川原委員・生本委員・林委員 傍聴議員：石井議員、松島議員、柏野議員、新岡議員			
説 明 者	副市長、経済部長、緑化推進室長、建設部長、水道部長 外24名	傍聴者数	1人	
事 務 局	議会事務局長、同次長、同主査	記 者	2人	

### 会 議 の 経 過 事 項

西中経済部次長	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>●日程1. 所管事務調査について</p> <p>1) 報告事項 事故等発生(処理)報告について 資料説明 事故等発生(処理)報告書</p> <p>【質疑】 なし</p> <p>日程1. 所管事務調査について終了</p>
山下農政課長	<p>●日程2. 経済部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ①農村滞在型余暇活動機能整備計画(グリーンツーリズム)について</p>
藤井商工労働課長 溝全国都市緑化北海道 フェア推進室主幹	<p>資料説明 ②新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について</p> <p>資料説明 ③ガーデンフェスタ北海道2022について</p>
長 谷 委 員	<p>【質疑】</p> <p>① 資料①今後のスケジュールで道への報告、公表が令和3年となっているが合っているのか伺います。</p>
山下農政課長	<p>① 道への報告、協議が令和4年1月、公表が令和4年3月の間違えであり、訂正をさせていただきます。</p>
長 谷 委 員	<p>② 公表とは、対象の方々への周知のことか伺います。</p>
山下農政課長	<p>② 令和4年1月より道と計画の協議を行い、3月に同意をいただき、市のホームページで公表します。</p>
長 谷 委 員	<p>③ 公表をもって、周知され、申請が始まるということですね。9月議会の代表質疑でも、現在も数件希望があると答弁いただいてますが、コロナの影響で米や農作物も余っているということも含め、恵庭の農産物がおいしいという周知もし、すばらしい取組なので、希望の農家がいれば、行政もできるかぎり</p>

	<p>のお手伝いをし、開業に向け進めていただきたく、希望を込めて終わります。</p>
川原委員	<p>① 資料①全地域への拡大は結構なことで、平成17年から実施されている、実施の項目を伺います。</p> <p>② 資料②商品券事業経費4億6,770万円の内、市の負担額を伺います。</p> <p>③ 資料③40・50代の女性をメインターゲットということだが、イベント内容等をどのように考え、おもてなしの気持ちを表現するのか伺います。</p> <p>④ 資料③ガーデンフェスタ北海道2022の1か月間のイベントスケジュールはいつ公表するのか伺います。</p>
山下農政課長	<p>① 当初10か所計画していたが、現在は8か所実施しています。道の駅かのかなの直売所、西島松のふれらんど、牧場の農業複合施設、盤尻の農家レストラン、恵南の畜産加工施設、戸磯の体験牧場、北島から移転した穂栄の農作物の加工施設と直売所、穂栄の体験農場ファームインが稼働しています。</p>
藤井商工労働課長 溝全国都市緑化北海道 フェア推進室主幹	<p>② 予算ベースで市の単費は5,530万円です。</p> <p>③ 戦略的プランは、花等によるメイン会場の装飾、ハンギングバスケットのコンテスト、ステージイベント、飲食の出店、インスタ映えする写真スポット等を、メインターゲットの視点を意識しています。</p> <p>④ 新年度すぐに公表する予定です。</p>
川原委員	<p>⑤ 資料①平成17年から始まり評価され、市内外の方々が足を運び、喜んでいると聞いています。全市に拡大される上で、希望者の状況について伺います。農業振興地域に一般の方が入ると、雑菌が入らないかなどの管理とのバランスはどのように考えているか伺います。</p> <p>⑥ 資料②プレミアム分はいくらか伺います。財源はどこからか伺います。</p> <p>⑦ 資料③施策としてリピーターの確保について伺います。</p>
山下農政課長	<p>⑤ 13件が興味・関心があり、畜産物直売所、加工体験施設、農家レストラン、農家民宿、市民農園を行いたいとの回答です。農業振興地域での対策は、農畜産物の生産拠点であるということを念頭に置き、圃場への無断立入りや、農道での迷惑駐車、家畜の伝染病や、病害虫の汚染対策の実施等、事業者自身だけでなく、周辺圃場への配慮も必要、事業実施の事前の協議にて、チェックリストや審査要領を作成し、周知していくことを考えています。</p>
藤井商工労働課長 溝全国都市緑化北海道 フェア推進室主幹	<p>⑥ 交付金、道補助金、一般財源で賄っており、20%がプレミアム部分です。</p> <p>⑦ フェアを一過性で終わらせることなく、道・恵庭市の魅力、花のまちづくりの取組を知っていただき、フェア後もリピーターとして多くの方々にきていただきたく、花のシーズン以外もSNSでの情報発信をしており、花と緑・観光課とも連携し、はなふるをはじめ、恵庭市を訪れる方々が増えて活気あふれるフェアになるよう努めます。</p>
川原委員	<p>⑧ グリーンツーリズムの現状の来客数や課題等を市で把握し、データ化しているか伺います。また、今後における管理体制を伺います。</p> <p>⑨ プレミアム分の金額及びプレミアム分の市の負担分を伺います。</p>
山下農政課長	<p>⑧ 感覚としてにぎわいは感じているが、数値では把握していません。今後は道の駅等の観光拠点にマップを作成して設置し、来訪者の増加、地域活性化</p>

藤井商工労働課長	につなげていきます。 ⑨ 資料の持ち合わせがないので、後ほどご報告します。
生 本 委 員	① 資料③関係町内会の説明にて参加者からの意見、懸念事項や要望があったか伺います。 ② 近隣7町内会への説明とあるが、今後市内全町内会へのフェアに関する周知や働きかけを行う予定があるか伺います。
溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹	① ガーデンフェスタ期間中にRVパークや道と川の駅やかのな等の施設の営業についてや、市民参加花壇の取組内容や、南島松の仮設駐車場の交通安全対策の関係、会場の開閉園時間、会場へのアクセスについての質問がありました。 ② 町連を通しての説明は実施するが、個別町内会へは予定はなく、市民情報誌や地域FMでの周知で、皆様に知っていただける取組を予定しています。
生 本 委 員	③ 町内会によっては花壇コンクールに参加し、表彰されているところもあり、花を通じての環境美化活動を推進しているところもあり、町内会への働きかけは機運を高める啓発活動のひとつで、今後取り組んでいただきたいです。 ④ 約1か月間、人の流れや車の出入りなど、普段の生活に気を配る状況になり、交通事故が起きない安全安心なイベント期間にしてほしく、可能な限り地域住民の声を受け止める窓口等、体制づくりを伺います。
溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹	③④ 町内会役員への説明会でも、交通安全に関する意見は多くでており、対策をしっかりとりたいと考えています。年度明けてから、再度周辺町内会にイベントスケジュール等の情報提供や交通対策の説明を行います。説明会後にも意見いただき対応しています。個別町内会への説明は難しいが、町連での説明会の中で意見をいただければ対応できる体制を整えたいと思います。
生 本 委 員	⑤ 町内会へは周知等改めて行ってほしく、近隣住民の方の理解を得られる丁寧な対応を今後もお願いしたいと思います。  1) 報告事項終了  ● 2) その他所管事務調査について
長 谷 委 員	【質疑】
藤井商工労働課長	① 道の第三者認証制度や恵庭市のコロナ対策の進捗状況を伺います。 ① 第三者認証制度は、飲食店に5回周知をしています。11月25日現在の状況、申請は81件、認証済69件となっています。今後、ワクチン・検査パッケージ制度についても道から情報が入り次第、周知します。
長 谷 委 員	② 周知方法は文書ですか。現在、各店舗を巡回して懸案事項等の相談を聞いているかどうか、何件程度進んでいるか、進捗状況を伺います
藤井商工労働課長	② 文書での周知をしています。268店舗巡回し、支援制度や第三者認証制度について説明しています。
長 谷 委 員	③ 最近では市民の協力で感染者も出ていないが、今後感染状況が変わることも

川 股 委 員	<p>考えられるので、今後とも感染対策と経済対策の実施を要望として終わります。</p> <p>① 有害鳥獣駆除の進捗状況について伺います。</p> <p>② 基盤整備の耐用年数経過後ではないと整備ができないか伺います。</p> <p>③ 外国人研修生の冬季雇用及び就労先緩和について伺います。</p> <p>④ 水田活用の直接支払交付金、水田から転作した畑は令和4年から5年間に水田に戻さなければ交付金対象から除外という見直しについて伺います。</p> <p>⑤ 観光振興計画での盤尻地区の記載は「渓谷観光の推進」とあるが、盤尻地区全体を観光の対象として取り組むという認識でよろしいか伺います。</p> <p>⑥ 次の観光の事業としては、アフターフェアのはなふるの利活用と、恵庭渓谷を中心とした盤尻地区の観光の推進という認識でよろしいか伺います。</p> <p>⑦ 高速道路を越えると、えこりん村、民間のパークゴルフ場やカフェ、市民スキー場、桜公園、漁川ダム、緑のふるさと森林公園、恵庭渓谷、国道453号線との交差点の間には森林鉄道やインクラインもあります。これらを観光資源として認識しているかどうかを伺います。</p>
山下農政課長	<p>② 補助金を活用して整備するには、適化法により、施設等種別ごとに財産処分の制限期間があり、補助金で整備した施設を制限期間内に撤去や取壊しをする場合は、原則補助金の返還が生じます。暗渠排水等は8年となっております。農水省では標準耐用年数は15年から30年となっております。15年以上経過してから、次の事業の検討を行うように指導されています。作物の生育は排水に左右されることが多分にあるので、質や収量の向上のためには暗渠排水等は重要な機能であると考えています。JAと共同で簡易耕土改良用の機械の借上げの補助を行っており、基金の活用も視野に入れて、今後も連携して協議を進めたいと思います。</p> <p>① エゾシカによる被害が多く、主な生息地が盤尻の国有林や北海道大演習場の中で、国有林の駆除が効果的であり、引き続き森林管理署と連携し駆除や、森林管理署のモバイルカリングでのエゾシカの狩猟を進めて参ります。</p> <p>④ 道農政事務所にも確認したところ、農水省から詳細情報がなく新聞報道の情報のみとの報告を受けています。補助の枠組みの見直しは、5年に1度水稻を作らなければ補助金が交付されないということで、輪作及び経営計画の見直しが必要となり、安定所得や経営、農地利用集積に影響が出る考えられます。JAと市で構成される農業再生協議会で実施し、JAと連携し、補助金の動向を注視し、情報の収集を行い今後の対応を検討していきます。</p>
川 股 委 員 金花と緑・観光課長	<p>③は要望ですので、答弁要りません。</p> <p>⑤⑥⑦ 盤尻地区は、恵庭渓谷が認知度も高く、主となり、ふるさと森林公園や市民スキー場や民間施設が縦断的に配置されており、盤尻地区全体が、観光資源として考えています。今後の観光として、観光振興計画にあるように既存施設のブラッシュアップが必要と考えています。恵庭渓谷を知っていただいて、足を運んでもらう取組から始めていくべきと思っています。盤尻地区全体で、札幌近郊にもかかわらず、手つかずの優れた自然環境を有している</p>

川 股 委 員	<p>ことが最大の強みと考えています。森林鉄道跡・鉱山跡の産業遺産、歴史的な文化資産、景観を含めた盤尻地区全体を観光資源として捉えています。</p> <p>⑧ 今年は熊の出没が多く、盤尻のデントコーン畑の48%が食べられ、牛への飼料が減少しました。熊7頭の内4頭駆除していただき、3頭は残っている、アライグマは減っているが、エゾシカの数は変わらない、更なる駆除への対策について伺います。</p> <p>⑨ 基盤整備は国と道で年数が違うのか伺います。</p> <p>⑩ 水田を国の政策で畑作物を作ってくれた場合で、水田に戻せるのが条件で交付金を出し、暗渠排水にて水はけを良くし、収量を上げていたのに、また水田に戻すというのは、事業者にとって大変なことであります。しっかり調べ、情報を入手しながら先手を打ってほしいと思います。</p> <p>⑪ 観光の資源化を具体に行うため、長期間バスツアー、ポイント制の導入、スキー場の夏場はキャンプ場として活用する通年利用、白扇の滝に売店ばんじり897が見えづらい場所にあるので、道路沿いの上の駐車場に設置し、オオルリ等のマスコットキャラクターを開発するなど、集客力や利便性を高める取組を民間事業者と連携して行っていく必要性について伺います。</p> <p>⑫ 民間施設・事業者の活用で何が大切か、民間事業者の意欲・収益性・集客力により、大きな費用をかけずに事業化していくということか伺います。</p> <p>⑬ 盤尻地区は交通の利便性がよく、産業の歴史遺産・景観を活用していける、点在している施設を、点から線、線から面へとつなげるには、産業遺産や歴史に詳しい市民・団体等地域と連携して、観光事業化もできるのではないかと伺います。</p>
山 下 農 政 課 長	<p>⑧ 恵庭猟友親睦会への駆除委託、有害鳥獣対策協議会にて交付金を活用し駆除実施、演習場国有林は広域なので千歳市や北広島市と連携し進めています。</p> <p>⑨ 耐用年数、適化法による処分制限期間は国で期間を定めています。判断は、国営事業は国、道営事業は道によるが、道も国の基準により取り進めていると思われます。</p> <p>⑩ J Aと連携し、農業再生協議会としてどのように対応していくのか検討していきます。</p>
金花と緑・観光課長	<p>⑪ 国土交通省ではガーデンツーリズム探訪部門ができ、地域外のガーデンをつなぐガーデンツーリズムから、ミニマムな地域内でのガーデンをつなぐツーリズムを推奨しており、市も参加を画策しています。盤尻地区えこりん村を交え、協議をしています。いかに恵庭に人を呼び込み、周遊させるかという取組では、一部ですが民間事業者と連携を図っています。紅葉バスツアーは、恵庭溪谷を宣伝する絶好の機会であり、ニーズの把握、バスツアーに代わる二次交通などを観光協会と検討しています。スキー場も含め、盤尻地区の通年利用が課題であり、どのような施策がいいのかを今後検討していく必要があると考えています。白扇の滝の売店は、道路からは見えづらいということはある、道道に面しており駐車場は道の管理地となっていて、紅葉時期の渋滞対策、売店の設置、駐車場の狭隘化、公衆トイレ等の整備の充実などは、道と協議していきます。</p>

川 股 委 員	<p>⑫ 民間事業者の活用は、行政で行える部分には限界があり、民間活力の手法は様々あり、民間事業者のお知恵をお借りすることは充分考えられ、スキー場の近くには民間事業者によるキャンプ場も開設され、今後もノウハウのある事業者との連携は考えていく必要があるという認識です。</p> <p>⑬ 点在している観光拠点をつないでいくには、盤尻地区をよく知る市民・団体のお話は参考になると思います。アイヌの関係施設、盤尻小学校跡地の緑地、どう活用し後世に残していくのか、知見を有する方との意見交換会が必要と考えています。観光行政を担う市と観光協会と連携し進めていきます。</p> <p>⑭ 農業再生協議会で水田活用直接支払交付金の協議がされたか伺います。</p> <p>⑮ 暗渠排水を部分的、ピンポイントでの設置は可能か伺います。</p> <p>⑯ 盤尻地区の観光人口を増やすために、最初にすべきことは広告宣伝が大事であるという認識を持っているか伺います。</p> <p>⑰ 盤尻地区の広告宣伝を観光協会がすべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>⑱ ガーデンフェスタの周知に関して、公共施設以外では見当たらないが、千歳空港、札幌駅の西口にある自治体パンフレット設置場所など、観光の対象を絞った的を射た広告宣伝にどう取り組むか伺います。</p> <p>⑲ 観光振興計画の見直しや新たな事業計画を作成していく予定はあるか伺います。民間との連携はすぐにできるかと思いますが、所見を伺います。</p>
山 下 農 政 課 長	<p>⑭ 再生協議会では報道以降まだ動いておりませんが、J Aとは連絡し合い、話し合っている状況で、今後について検討していきます。</p> <p>⑮ 現段階では、簡易耕土改良事業として機械の借上げ等の補助をおこなっており、I C Tの活用で今後対策方法も見えてくると思います。J AやI C T研究会と連携し、今後どのようにしていけば効率的かつ効果的に営農していけるのか検討して参りたいと考えてます。</p>
金 花 と 緑 ・ 観 光 課 長	<p>⑯ 盤尻地区を含めた観光資源を知ってもらうには効果的な宣伝や広告が必要という認識は同じです。</p> <p>⑰ 観光協会のノウハウや知見を活用したいと思い、協議をしていますが、行政も一緒に効果的な情報発信について考えていく必要があると思います。</p> <p>⑱ ガーデンフェスタを含めた周知の方法は、人のたくさん集まる空港や札幌駅に観光パンフレットやリーフレットを設置するのも、地道ではあるが重要な取組であり、今後もしっかりと周知できる方法を考えて参ります。</p> <p>⑲ 現時点での計画の見直しの予定はしていません。計画の中では、既存施設のブラッシュアップが一つの目標として掲げられており、まず認知度アップを図る取組を進めていくということです。恵庭溪谷の中の体験型コンテンツの導入などをアクションプランとして掲げられており、まずは実施することが必要と考えています。そうした中で、民間事業者との連携が図れるところがあれば、力をお借りします。ブラッシュアップの方策として、どういったことが有効かを検討し、実施していく土台をつくっていくのが重要と考えています。現計画の施策の実施について、引き続き検討して参ります。</p> <p>⑳ コロナ禍の状況や、イベントの縮小実施などにより、周知が進んでいない課題があるが、広報宣伝に関する補正予算の議決もいただき、今後は商</p>
溝全国都市緑化北海道フェア推進室主幹	

<p>長屋管理課長 長谷土木課長</p>	<p>工会議所会員と連携したり、駅での広告掲載、まずは市内周知を高め、その後市外へ、年明けからは道央圏で周知できる取組を考えて参ります。</p> <p>日程 2. 経済部関連終了</p> <p style="text-align: center;">1 1 時 3 3 分 休憩</p> <p style="text-align: center;">1 1 時 4 0 分 再開</p> <p>●日程 3. 建設部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ④除雪計画について</p> <p>資料説明 ⑤恵庭市街区公園再整備計画の策定について</p>
<p>澁谷委員 長屋管理課長</p>	<p>【質疑】</p> <p>① 資料④例年との差異があれば伺います。</p> <p>① 除雪延長の増減は、多少あるが、基線通りの架け替えに伴い除雪を実施せず、公共施設では職業訓練センターの除雪をせず、1か所減となっています。</p>
<p>生本委員 長谷土木課長</p>	<p>① 資料⑤再整備にあたり住民の方の意見を聞くというワークショップは具体的にどのように開催されるか伺います。</p> <p>① 年次計画で毎年2公園ずつ整備し、前年度に行う実施設計の中で、各公園ごとにワークショップを2～3回開催し、公園の整備の内容について住民の方々の意見を伺いながら、進めていきます。</p>
<p>生本委員</p>	<p>② 公園利用の実態をより正確に把握し、地域住民との意見交換を確実に実施してほしいと思います。</p> <p>●2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p> <p>なし</p> <p>日程 3. 建設部関連終了</p>
<p>畑経営管理課長 川原委員</p>	<p>●日程 4. 水道部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ⑥恵庭市下水道ビジョン・経営戦略（素案）について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 資料⑥のダウンサイジングの効果について、令和14年度以降という表記になっていますが、今までの説明と差異があると感じますが伺います。</p> <p>② 経費回収率（図7-2）、100%を下回るということで、どういう仕組み</p>

<p>平井下水道課長</p>	<p>でそうなるのか伺います。</p> <p>③ 56頁の財政規律による経営判断について、使用料の検討という表記がありますが、値上げが前提なのか伺います。</p> <p>④ 後年度に流動比率が330%以上になっているが、そんなことがあり得るのか伺います。</p> <p>① ダウンサイジングの効果については、令和7年度に分流化事業完了を目指し事業を実施しています。完全に分流化された場合、下水終末処理場に入る汚水量については減少すると考えております。令和8年度以降の実際の汚水量を見ながらダウンサイジングの検討に入ることとなりますが、どのように実施していくかは実際の汚水量によりますが、長期的に設備を見直していくことで効果が出るものと考えています。ダウンサイジングを行う年度についてもそのように検討していくことを計画に書いています。</p>
<p>畑経営管理課長</p>	<p>② 経費回収率ですが、下水道使用料等で賄われています。以前の計画から100%の経費回収率を見込んでいます。実際に決算では近い数字となっておりますが、今回の計画は10か年の中で100%の経費回収率を見込んでおり、施策の目標の一つとして取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>③ 財政規律による経営判断に沿った経営を行っていければ、健全な経営ができるという指標として考えており、財政規律をもとに予算の執行を行っていききたいと考えています。</p> <p>④ 流動比率も施策目標の一つに150%以上という目標を掲げています。投資を考えたときに現金を持つことは重要であり、10年先には300%を超える年度も出てくることとなります。</p>
<p>尾池水道部次長</p>	<p>③ 財政規律の経営判断のところ、使用料収入の検討ということで値上げを前提に考えているのではないかとということですが、財政規律が継続的に守れなくなり経営が悪化した場合には、そういう検討も必要になるということで、値上げ有りきでは考えていません。</p>
<p>川原委員</p>	<p>⑤ 値上げを考えていないなら、検討という表現を入れる必要がなく、財政規律を保てないことが前提ならば由々しき経営計画と思いますが伺います。</p> <p>⑥ ダウンサイジングについて、施設の更新時期が来ているが、雨水が入らなくなることで、負荷が軽減し更新する必要がなくなり、維持管理費の減額となるということで進めていこうという認識です。経費収納率に雨水も収入としてみており、雨水が減る中、一般財源からの繰入れも減る状態で、100%の経費回収率ができるのか伺います。</p>
<p>平井下水道課長</p>	<p>⑥ 合流改善がされ、下水処理場に入る水量が減少した場合は、運転管理費がかからなくなるが、現在工事中で、整備終了後に実際の水量の減少量を見極めてからでないと水処理等を廃止するという判断はできないので、流入水量を鑑みながら、計画に反映していきたいです。</p>
<p>川原委員 畑経営管理課長</p>	<p>⑦ 耐用年数は改修しなくても持つ。</p> <p>⑤ 10年間の財政規律を基に健全な経営はできるが、50年間を見据え、経営がひっ迫した場合、ダウンサイジングの実施と料金の見直しの検討に入っていないかなくてはならないこともあるということで、10年間は全く問題ない</p>



<p>平井下水道課長</p>	<p>です。経費回収率には、雨水は下水道使用料には入らない。汚水処理にかかる下水道使用料で入ります。</p> <p>⑦ 後年時、耐震化事業を進めるかどうかを判断していき、今は持たせながら使用しています。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>●2) その他所管事務調査について</p> <p><b>【質疑】</b> なし</p> <p>日程4. 水道部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p><b>【委員間協議】</b></p> <p>●日程5. 閉会中の所管事務調査項目について 全国都市緑化北海道フェア関連について 新型コロナウイルス感染症対策について 除雪について</p>
<p>前田委員長</p>	<p>●日程6. その他</p> <p>行政視察は4年度に繰越し予定で、ガーデンフェスタ北海道2022のために、4月の早い時期に熊本を視察したいと思っており、相手もあることなので調整して参ります。</p> <p>委員長が閉会を告げる。</p> <p style="text-align: right;">(12:20 終了)</p>